



第65回 定時総会開催

(一社)日本道路建設業協会中部支部は5月29日、名古屋市東区のメルパルク名古屋で第65回通常総会を開き、12年度の事業・決算報告および幹事追認の3議案を可決承認致し、13年度の事業計画と収支予算などを報告しました。新役員につきましては3月の幹事会で支部長に川端清太鹿島道路執行役員中部支店長、幹事長に寺林裕二日本道路執行役員中部支店長らを選出したことを追認事項とし、承認いたしました。

議事に先立ち、同日開かれた道建協と中部地方整備局との意見交換会に出席した本部役員を代表して三好武夫会長があいさつし「人材の確保・育成や新たな入札契約制度への対応で、一層の技術開発が求められている」と述べ、協

力を要請されました。

総会の冒頭、あいさつした川端支部長は、「社会資本整備を担う基幹産業として、建設市場の変化に対応しながら積極的な支部活動を展開していきたい。道路整備の推進、道路建設業の健全な発展に基づき、諸活動に積極的に推進しているが、昨年度は特に、労働条件や環境の改善、安全はもとより適正な価格により優れた社会資本を提供するよう取り組んだ。当地域では大地震発生、社会インフラの更新など、直面する課題も多い。建設市場の変化に対応し、道路整備の着実な発展、地域安全の確保を図りつつ、社会的責任を全うしていきたい」と述べられました。



技能社員表彰受賞者

